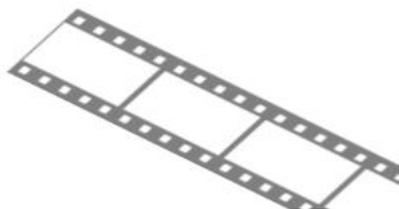


# マルチメディアの参照

axf:multimedia-treatment によりマルチメディアデータを PDF に埋め込むか参照させるかを指定できます。指定は <fo:external-graphic src="video.mpg" content-type="video/mpeg" axf:multimedia-treatment="relative-link"> のように行います。axf:poster-image でポスター画像を指定できます。axf:multimedia-treatment に対しては、auto (オプション設定ファイル [multimedia-treatment](#) の値が採用)、embed (埋め込み)、absolute-link (絶対パスで参照)、relative-link (相対パスで参照)、richmedia (リッチメディア注釈として埋め込み)、richmedia-windowed (リッチメディア注釈として埋め込みますが、再生時には別のウィンドウに表示) などの指定ができます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:multimedia-treatment](#)」をご参照ください。axf:multimedia-treatment の指定は Antenna House Formatter V6.3 から利用いただけます。なお、マルチメディアの取り扱いは、PDF1.5 以降で有効です。richmedia と richmedia-windowed は、Antenna House Formatter V6.5 かつ PDF1.7 以降で有効です。

このサンプルでは axf:multimedia-treatment="relative-link" の指定でマルチメディアを相対パスで参照させています。axf:multimedia-treatment="embed" の指定でマルチメディアを埋め込むとマルチメディアのサイズに応じて PDF のサイズが大きくなります。

## axf:poster-image の指定なし



## axf:poster-image の指定あり



## axf:show-controls="true"、axf:media-volume="10%"、axf:media-play-mode="2"



axf:show-controls (再生コントロールバー)、axf:media-volume (再生音量)、axf:media-play-mode (再生回数) など一部の指定が有効となるか否かは、マルチメディアデータ、ビューア、プレイヤーに依存します。